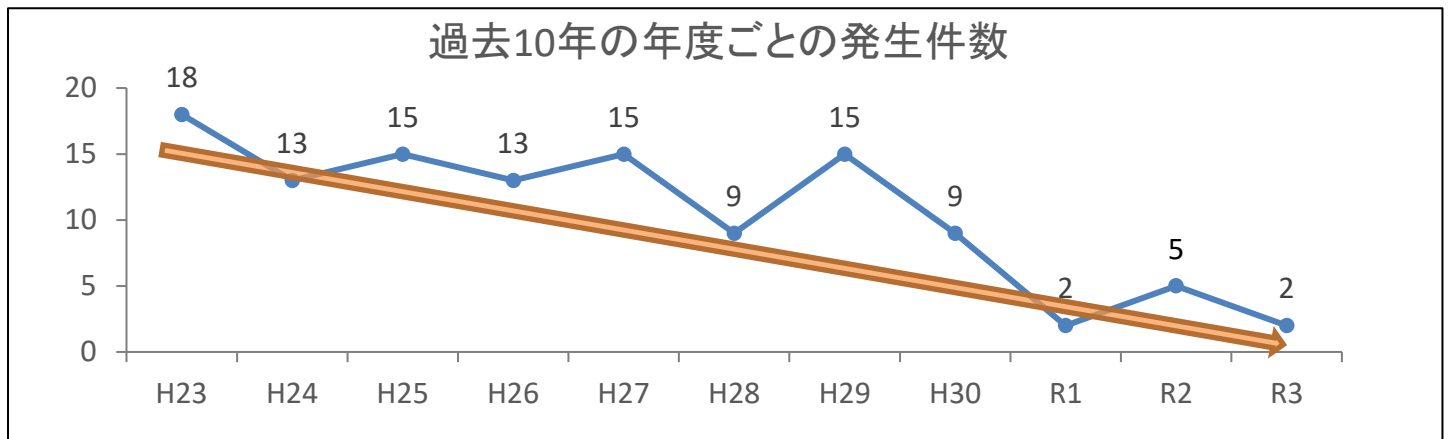


生乳への抗菌性物質残留事故が発生しました!!

6月12日、オホーツク管内で、今年度1例目の生乳への抗菌性物質の残留事故が発生しました。原因はロボット搾乳システムへの入力忘れによる誤搾乳です。

管内では近年、自主検査の導入など、農場、関係機関の皆様の取り組みにより、残留事故の発生件数が減少しています。今年こそは残留ゼロを目指していた中で、の発生で残念でしたが、対策を徹底し、今後の発生を防止しましょう!



～令和3年度の発生原因と改善指導例～

- マーキング見落とし、忘れ、外れによる誤搾乳
⇒ 複数のマーキング、治療の都度マーキング、治療牛の隔離
- 治療薬を他の牛に誤投与
⇒ 搾乳前に治療牛を確認、情報共有の徹底
- 自主検査キットの不適切使用、検査結果の確認ミス
⇒ 生乳採取前にバルク内の攪拌を十分行う
検査キットをバルククーラーに置き、集乳者と情報共有
- 乾乳軟膏投与後、乾乳舎へ移動し遅れ、移動し忘れ
⇒ 乾乳軟膏は乾乳舎へ移動させてから投与
- ロボット搾乳での情報登録ミス
⇒ 入力情報が正しいか、きちんと反映されているか、入力者以外が確認

